



清少納言
九





まじりあつちのそと

●ふらりかあはるもの

風景

取初

九日おけあひて狂ひのまゝなる

競あはる

ひ月一日のゆとめて

わかれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

かあうすれりあへん人のけり

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

ふくのよらびあひるひく

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

よあふはるいそとわらう

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

まゝくあひるいそとわらう

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あひるいそとわらう

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あひるいそとわらう

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あひるいそとわらう

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あひるいそとわらう

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ



ふらふら
勝の居方の石のたて

ふらふら
久しきまをて受給ふる居たりしは

後者 無礼
せんまあげのちあつても

追従
ふらふら
威勢まゝ

ふらふら
お東
ついでに

ふらふら
お東
お東

ふらふら
お東
お東

ふらふら
お東
お東

ふらふら
お東
お東

ふらふら
お東
お東

ふらふら
お東
お東

ふらふら
お東
お東

ふらふら
お東
お東

ふらふら
お東
お東

ふらふら
お東
お東

ふらふら
お東
お東

大貳 相當従四位下 大貳少貳皆次官也。今義解曰大貳

本正五位上也。延暦十二年改爲従四位下

大貳 相當従四位下 大貳少貳皆次官也。今義解曰大貳

大貳 相當従四位下 大貳少貳皆次官也。今義解曰大貳

クシヨ。法師のあがしはまのりしはくきいなる
僧綱のりよあしはまのりはくきいなる

延^ニ武^ニ云^ク 毎年正月於^テ大^ニ極^ニ西^ニ講^ニ説^ニ金^ニ光^ニ明^ニ最^ニ勝^ニ王^ニ經^ヲ
時^ニ以^テ内^ニ供^ニ奉^ニ十^ニ禪^ニ師^ニ為^ス續^ニ師^ト

つれあはしくよみ。あまはよげあまよひくも。あまあづむたなる。
あまはよげあまよひくも。あまあづむたなる。
つれあはしくよみ。あまはよげあまよひくも。あまあづむたなる。
あまはよげあまよひくも。あまあづむたなる。

● 風

はくし。 五日のあまのりしはくきいなる。
はくし。 五日のあまのりしはくきいなる。

あまのりしはくきいなる。あまのりしはくきいなる。
あまのりしはくきいなる。あまのりしはくきいなる。

あまのりしはくきいなる。あまのりしはくきいなる。
あまのりしはくきいなる。あまのりしはくきいなる。

あまのりしはくきいなる。あまのりしはくきいなる。
あまのりしはくきいなる。あまのりしはくきいなる。

あまのりしはくきいなる。あまのりしはくきいなる。
あまのりしはくきいなる。あまのりしはくきいなる。

あまのりしはくきいなる。あまのりしはくきいなる。
あまのりしはくきいなる。あまのりしはくきいなる。

あまのりしはくきいなる。あまのりしはくきいなる。
あまのりしはくきいなる。あまのりしはくきいなる。

倒 *Handwritten text*

Handwritten text 這状

Handwritten text 瓶 萱葉一沓也

Handwritten text 紗

Handwritten text 髪

Handwritten text 髪

Handwritten text 髪

Handwritten text 髪

Handwritten text 髪

Handwritten text 髪

Handwritten text

● *Handwritten text*

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

お打替り

長あ

お打替りお打替りお打替りお打替りお打替り

お打替りお打替りお打替りお打替りお打替り

お打替りお打替りお打替りお打替りお打替り

お打替りお打替りお打替りお打替りお打替り

お打替りお打替りお打替りお打替りお打替り

お打替りお打替りお打替りお打替りお打替り

お打替りお打替りお打替りお打替りお打替り

お打替りお打替りお打替りお打替りお打替り

お打替りお打替りお打替りお打替りお打替り

お打替り

お打替り

奥列

出羽又多の音、肥後風流

因幡流

奥列

同

うら

長門豊浦

一草一木

松

は

うら

うら

うら

お打替り

絶列

江戸

お打替り

お打替り

お打替り

お打替り

お打替り

お打替り

お打替りお打替りお打替りお打替りお打替り

お打替りお打替りお打替りお打替りお打替り

お打替りお打替りお打替りお打替りお打替り

お打替りお打替りお打替りお打替りお打替り

お打替り

かゝるの事... かのの事...

志賀 拾芥云崇福寺近江志賀郡号志賀寺三井寺也

●おろみき 注おろみき... 陸奥... の歌...

あつら 陸奥新倉の... 見内... の事...

●どろりき 讀経は海... 一日の飛渡... 善提... の事...

ゆづれ

大論秦言能持集種善法能持令不散不失肇翻為慈持

●わびびき 遊鳥也

回旋未若上下逐東... の事...

よれ人の... わびびき... の事...

列向別録... 雙鞠者黄帝所作也或云起戦国之時託黄帝

雙鞠之勢也以練武士知有才也

初考

勅掩 基

小り

わびびき

●ゆいき

すんがじん

有彦

すんがの園... 有彦... の事...

は... 東... の事...

な... 太刀... の事...

あ... 敵... の事...

前漢列傳十一上畧 初帝已定南中項王至怒欲攻之帝從百

余騎見羽鴻門西父范增令項在拔劔舞欲擊帝項伯常

屏蔽之噲閱事急持者直入怒甚羽壯之賜以卮酒疑肩

● ことば

いよ。 こゝろ まうのころに

内をきかぬて。

公事根原ニク天福二年九月廿六日。拾収道徳云。書成信の事

信。拾収の人れを記す信のけあふ人ニク。そのむむむむの事乃

前日ついで。主人の事車まで。地下ニク。地の信ニク。白の信ニク。信ニク

信ニク。その事記すニク。信ニク。信ニク。信ニク。信ニク

十月酉の日直後の信留也

信ニク。上達部好信ニク。信ニク。信ニク。信ニク

見ニク。の事記すニク。信ニク。信ニク。信ニク。信ニク

事ニク。信ニク。信ニク。信ニク。信ニク。信ニク

事ニク。信ニク。信ニク。信ニク。信ニク。信ニク

吾人地招の精神を云々ともあがり

けの事記すニク。信ニク。信ニク。信ニク。信ニク

事ニク。信ニク。信ニク。信ニク。信ニク。信ニク

事ニク。信ニク。信ニク。信ニク。信ニク。信ニク

事ニク。信ニク。信ニク。信ニク。信ニク。信ニク

事ニク。信ニク。信ニク。信ニク。信ニク。信ニク

事ニク。信ニク。信ニク。信ニク。信ニク。信ニク

吾人地招の精神を云々ともあがり

夫木

末

信ニク。信ニク。信ニク。信ニク。信ニク。信ニク

信ニク。信ニク。信ニク。信ニク。信ニク。信ニク

是より高より一も休あるは
天子の雲はあはれいひのき

しよふあざふふあはれいひのき
神

一いふくうはむいなるまゝ
宣入 東登子

あまううううあまうう
風華の中網はをりする
ラキトナリ

をほりあはれいひのき
養ひり柱の暉養

をのあしこいしうう
養ひり柱の暉養

あまううううあまうう
大治

あまううううあまうう
居直

あまううううあまうう
溢

あまううううあまうう
タレ

あまううううあまうう
葵 鬘也

故無品常康親王之の居也
竹林院名大徳寺の院也

あまううううあまうう

あまううううあまうう
草子

あまううううあまうう
老

あまううううあまうう
野馬

あまううううあまうう
野馬

あまううううあまうう
神事

あまううううあまうう
神事

あまううううあまうう
神事

見物人の衣表也

Handwritten text in cursive script, likely a list of items or descriptions.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

車より持ち出すもの

制禁

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

女車と男車と

ていふは、*Woman's Car* と *Man's Car* のこと。 右を二

ていふは、*Woman's Car* と *Man's Car* のこと。

ていふは、*Woman's Car* と *Man's Car* のこと。

ていふは、*Woman's Car* と *Man's Car* のこと。

ていふは、*Woman's Car* と *Man's Car* のこと。

ていふは、*Woman's Car* と *Man's Car* のこと。

ていふは、*Woman's Car* と *Man's Car* のこと。

ていふは、*Woman's Car* と *Man's Car* のこと。

此の字は

ていふは、*Woman's Car* と *Man's Car* のこと。

ていふは、*Woman's Car* と *Man's Car* のこと。

ていふは、*Woman's Car* と *Man's Car* のこと。

ていふは、*Woman's Car* と *Man's Car* のこと。

ていふは、*Woman's Car* と *Man's Car* のこと。

ていふは、*Woman's Car* と *Man's Car* のこと。

ていふは、*Woman's Car* と *Man's Car* のこと。

ていふは、*Woman's Car* と *Man's Car* のこと。

三十一

よきとてあきらまざりたもの。きよきなほひけり。あきらまざりたもの。
ふきぬ引かづき。高伸ふ。香のあきらま。いほのよめ。あきらま。
月のあきらま。川。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。
あきらま。あきらま。水のあきらま。あきらま。あきらま。あきらま。

あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。
あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。
あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。

あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。
あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。
あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。

●みどりくしてあきらま。あきらま。

早速 以 あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。
あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。

あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。

●あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。

あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。
あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。

あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。
あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。

あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。
あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。

あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。
あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。あきらま。

水板也四ヶ所の敷 橋敷
雑色

時めく人

馬の心算(心算) 神(神)

薬院の

又(又)

車(車)

車(車)

車(車)

副車 延喜式に萬余種 中車は芳より名がわてまの人

筑前の人

湯前(湯前) 湯前(湯前)

人(人) 人(人)

車(車) 車(車)

的(的) 的(的)

車(車) 車(車)

人(人) 人(人)

人(人) 人(人)

五位(五位) 五位(五位)

水地トシメヤ。又譜代幕府ヨリハね水地トシメヤ。

人の面を地トシメ

水地トシメヤ。又譜代幕府ヨリハね水地トシメヤ。

清サ

水地トシメヤ。又譜代幕府ヨリハね水地トシメヤ。

女の面

水地トシメヤ。又譜代幕府ヨリハね水地トシメヤ。

水地トシメヤ。又譜代幕府ヨリハね水地トシメヤ。

清サ

水地トシメヤ。又譜代幕府ヨリハね水地トシメヤ。

信サ

水地トシメヤ。又譜代幕府ヨリハね水地トシメヤ。

よの紙

水地トシメヤ。又譜代幕府ヨリハね水地トシメヤ。

あつぬうと名紙のりかきかき

水地トシメヤ。又譜代幕府ヨリハね水地トシメヤ。

水地トシメヤ。又譜代幕府ヨリハね水地トシメヤ。

三茶ののりたはよ ますら

動物長保九年八月九日自職御曹司移任生昌三茶宅

イヌオサキ

五のさうぬりしりなとてとち。

勝り 足箱の事也。案幕人等の勝りしとてとち。

高浦の鹽也

廿度の色又ウケのり高のり

水地トシメヤ。又譜代幕府ヨリハね水地トシメヤ。

二の口

水地トシメヤ。又譜代幕府ヨリハね水地トシメヤ。

清サ

水地トシメヤ。又譜代幕府ヨリハね水地トシメヤ。

信サ

水地トシメヤ。又譜代幕府ヨリハね水地トシメヤ。

信サ

水地トシメヤ。又譜代幕府ヨリハね水地トシメヤ。

このまゝに... 大蔵の

りわ

すわ... 唐の

し... 皇の切方久し

あ... 業のあつた

か... 業のあつた

さ... 皇親なるに

い... 皇親なるに

い... 皇親なるに

思ぬの箱 蓋

ケの

く... 水の上水入

あ... 水入

あ... 水入

あ... 水入

あ... 水入

あ... 水入

あ... 水入

あ... 水入

あ... 水入

あ... 水入

いかにかきかへしきまらば

名前のいふ十二箇目

いかにかきかへしきまらば

いかにかきかへしきまらば

いかにかきかへしきまらば

いかにかきかへしきまらば

いかにかきかへしきまらば

いかにかきかへしきまらば

城が毒とていふや

いかにかきかへしきまらば

いかにかきかへしきまらば

いかにかきかへしきまらば

いかにかきかへしきまらば

いかにかきかへしきまらば
少納言の
なふ事とて不考

いかにかきかへしきまらば

● 思ひ

山株

大和

山株鞆岡

生

いかにかきかへしきまらば

いかにかきかへしきまらば

聖座秘抄の持物の言

いかにかきかへしきまらば

いかにかきかへしきまらば

いかにかきかへしきまらば

いかにかきかへしきまらば

● 思ひ

布留和列

同龍留

奥列鼻節神社延表

越後善久理神社同上

いかにかきかへしきまらば

高野の松よりあや人のまつたてのまつり

松のみやうの松 高野のまつり

二諸山のまつり。社壇をなすとして。あはすとじりげりや

神跡をよきまのまがれ子大己貴のまがれ也ユホ子久千 ミコト 大己貴

あまのまがれ神のまつり。まがれ国もあはれなりけり

高野のまつり

高野のまつり

神のまつり。松はの國也。社をよきまのまつり

高野のまつり 事任明神在遠江國高野郡。積田考余也

和泉國和泉郡延喜式 孝之家のまつり 高野のまつり 孝のまつり 孝のまつり

孝のまつり。高野のまつり。孝のまつり。孝のまつり。

孝、孝光天皇のまつり。延喜式の子也。孝のまつり。孝のまつり。

高野のまつり。まつり。まつり。まつり。

孝のまつり。まつり。まつり。まつり。

孝のまつり。まつり。まつり。まつり。

孝のまつり。まつり。まつり。まつり。

孝のまつり。まつり。まつり。まつり。

孝のまつり。まつり。まつり。まつり。

孝のまつり。まつり。まつり。まつり。

孝のまつり。まつり。まつり。まつり。

孝のまつり。まつり。まつり。まつり。

孝のまつり。まつり。まつり。まつり。

なれはば、げりくさうのむかひのめづりも入て、さうう海であまて
高きたう。 さういふも六つある。 事なりとて。

●日也

入はてぬかかヤ峯しざうよ。ひわのふはとらうくあううみゆらうい
太陽の精也
さういふも六つある。 さういふも六つある。 事なりとて。

説文云日者實也太陽之精也程子云日月之為物陰陽發
見之最盛者也 性理大全同この後古今の定論也

●月也

ま月のますう月の出ま海はやらむうとて
ほりぬぐれやうのけふりさうてつづる月ありとて

朱子云月懸常圓無闕常受日光為明

しりの説十曾十五言也其星也
續日本紀十五日以後号晨月

●星之為二精也陽為日日為星春秋題辭也

- 昂星 牽牛 明星ありしとて 長庚星ありしとて
- すげん びらぼり ちうちう ちうちう
- 星ありしとて ちうちう ちうちう
- ちうちう ちうちう ちうちう

●云々也 説文雲者山川之出氣也

ちうちう ちうちう ちうちう ちうちう ちうちう
あけさる海はりのちうちうのやくちうちうあつちうちう
ちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちう
ちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちう

宋玉賦云朝為行雲暮為行雨

●さぶらゝの

又の説はさぶらゝの

炭の

向き

けり

いそがしきとてあつたかゝの所乃。さびを火 十八日

通夜

火を

清浄なる心

清水寺寶龜九年寅沙弥延鎮建立詳元亨初卷

大日御親考の日より。船尾寺の観音氏お認より人

事急ナリ七月十八日十八日十中子の像四天王六世

刻く。只大日一人の之座のみ認め。いほ恵目

定む

くらからん。まはらばら。まはらばら。まはらばら。まはらばら。

まはらばら。まはらばら。まはらばら。まはらばら。まはらばら。

まはらばら。まはらばら。まはらばら。まはらばら。まはらばら。

あえけり。まはらばら。まはらばら。まはらばら。まはらばら。

●あい。まはらばら。まはらばら。まはらばら。まはらばら。

まはらばら。まはらばら。まはらばら。まはらばら。まはらばら。

和名。草帯。其取附。金玉石。石角。未為。名。故有。首玉。帯。隱

文。馬。脚。一。紀。伊。石。一。出。雲。石。一。越。石。一。狂。屏。一。鳥。屏。一。等。之。名

道德の聖なる。まはらばら。まはらばら。まはらばら。まはらばら。

●あ。まはらばら。まはらばら。まはらばら。まはらばら。

まはらばら。まはらばら。まはらばら。まはらばら。まはらばら。

雷鳴陣。清涼行事。日。雷鳴時。遠。袋。東。殿。上。石。也

七月相模の師の相模一の啓
 又或る内務寮雷楔麻

~~~~~  
 是の道具也  
 雷楔麻  
 此の道具也  
 雷楔麻  
 此の道具也  
 雷楔麻

此の道具也  
 雷楔麻  
 此の道具也  
 雷楔麻

釋日本紀云  
 後具人形解縷散末

上達部也  
 此の道具也  
 雷楔麻

納言人為之  
 此の道具也  
 雷楔麻



律師

・法師也  
ナク内儀を肉し

律師 准<sup>ナ</sup>法<sup>ニ</sup>在<sup>リ</sup> 天<sup>ノ</sup>女<sup>ノ</sup>子<sup>ノ</sup>は<sup>ハ</sup>如<sup>ク</sup>也<sup>シ</sup> 律抄<sup>ニ</sup>解<sup>キ</sup>題<sup>ス</sup>云<sup>フ</sup> 佛<sup>ノ</sup>ノ  
云<sup>フ</sup> 解<sup>シ</sup> 二字<sup>ヲ</sup> 名<sup>ス</sup> 律師<sup>ト</sup> 一字<sup>ヲ</sup> 者<sup>シ</sup> 律<sup>ノ</sup> 之<sup>ノ</sup> 字<sup>也</sup> 内<sup>儀</sup> 延<sup>在</sup> 式<sup>ニ</sup> 云<sup>フ</sup>  
年<sup>ノ</sup> 月<sup>ノ</sup> 日<sup>ノ</sup> 大<sup>ニ</sup> 極<sup>ニ</sup> 講<sup>ス</sup> 説<sup>ス</sup> 金<sup>ノ</sup> 光<sup>ノ</sup> 明<sup>ノ</sup> 最<sup>ニ</sup> 勝<sup>ニ</sup> 經<sup>ノ</sup> 河<sup>ノ</sup> 符<sup>ノ</sup> 信<sup>ノ</sup> 十<sup>ノ</sup> 師<sup>ト</sup>

高<sup>ク</sup> 侍<sup>リ</sup> 之<sup>ノ</sup> 儀<sup>也</sup>  
内<sup>儀</sup> 之<sup>ノ</sup> 儀<sup>也</sup>  
・女<sup>也</sup>  
・律<sup>也</sup>  
・准<sup>也</sup>  
・在<sup>也</sup>

典<sup>侍</sup> 人 相<sup>當</sup> 從<sup>五</sup> 位 掌<sup>奏</sup> 請<sup>宣</sup> 傳<sup>檢</sup> 校<sup>女</sup> 孺<sup>兼</sup> 知<sup>内</sup> 外<sup>命</sup>  
婦<sup>朝</sup> 參<sup>及</sup> 禁<sup>内</sup> 之<sup>儀</sup> 也<sup>シ</sup> 掌<sup>侍</sup> 人 相<sup>當</sup> 從<sup>五</sup> 位 掌<sup>同</sup> 典<sup>命</sup>

唯<sup>レ</sup> 不<sup>レ</sup> 得<sup>レ</sup> 奏<sup>請</sup> 宣<sup>傳</sup> 也

・女<sup>也</sup> 諸<sup>家</sup> 之<sup>ノ</sup> 女<sup>居</sup> 之<sup>儀</sup> 也

禁<sup>中</sup> 之<sup>ノ</sup> 儀<sup>也</sup>  
内<sup>儀</sup> 之<sup>ノ</sup> 儀<sup>也</sup>  
一<sup>ノ</sup> 果<sup>ノ</sup> 之<sup>儀</sup> 也  
若<sup>シ</sup> 女<sup>之</sup> 母<sup>也</sup> 也<sup>シ</sup>

・女<sup>也</sup> 諸<sup>家</sup> 之<sup>ノ</sup> 女<sup>居</sup> 之<sup>儀</sup> 也  
・女<sup>也</sup> 諸<sup>家</sup> 之<sup>ノ</sup> 女<sup>居</sup> 之<sup>儀</sup> 也  
・女<sup>也</sup> 諸<sup>家</sup> 之<sup>ノ</sup> 女<sup>居</sup> 之<sup>儀</sup> 也

・女<sup>也</sup> 諸<sup>家</sup> 之<sup>ノ</sup> 女<sup>居</sup> 之<sup>儀</sup> 也  
・女<sup>也</sup> 諸<sup>家</sup> 之<sup>ノ</sup> 女<sup>居</sup> 之<sup>儀</sup> 也  
・女<sup>也</sup> 諸<sup>家</sup> 之<sup>ノ</sup> 女<sup>居</sup> 之<sup>儀</sup> 也









